

## Ⅶ. 組 織

### 1. 原爆資料センター運営委員会委員（平成元年4月1日現在）

内藤 芳篤, 奥村 寛, 市丸 道人, 関根 一郎, 小池 正彦, 新川 詔夫,  
珠玖 洋, 池田 高良, 竹本泰一郎, 原 耕平, 辻 芳郎

### 2. 職員（平成元年4月1日現在）

センター長（併）	奥 村 寛
共通部門 事務補佐員	田 中 富士子
資料調査部 主任（併）	市 丸 道 人
助手	三 根 真理子
助手	森 弘 行
助手	近 藤 久 義
技官	橋 内 敏美枝
技能補佐員	深 堀 三八子
病理部 主任（併）	関 根 一 郎
助教授	岸 川 正 大
助手	井 関 充 及
助手	西 村 美 香
技官	藤 沢 吉 広

### あ と が き

年毎の研究概要をまとめることは、その年の研究活動を振り返ることになり、次の年の発展へとつながるであろう。

この一年は原爆資料センターの充実と原爆後障害研究の発展を検討した年である。そのまとめは平成元年10月17日に開かれたセンター運営委員会で審議していただいた。記録として残しておいた。12月には第2回原爆資料センター・ワークショップを開き、原爆後障害研究としての加齢研究の可能性を論じた。現在活躍されている7人の若手研究者を招いて有意義な会となった。その内容もまとめておいた。

当センターの設立は日本学術会議の勧告が源である。当初の設立の目的と意義を知るために、その勧告を再録した。

市丸道人教授（資料調査部主任）は平成2年3月で停年退官される。「はしがき」に述べられている先生の原爆後障害研究に対する意志を私達は引継ぎたいと思う。

（Oku）